

わくわくとうど塾7月
郷土料理について
学びました

災害ボランティア活動

岩手県山田町への災害支援を実施

7月13日(水)～16日(土)にかけて、飯山市内の方を対象に募集した災害ボランティア19名の皆さんと職員2名が、岩手県山田町へ災害支援活動にむかいました。現地は、テレビや新聞で報道している光景が広がっていました。

翌日から山田町災害ボランティアセンターに行き、活動先の案内を受け、活動先に入



山田町災害ボランティアセンターの様子



片付けられたたくさんの瓦礫等

りました。民家の瓦礫の片付けが主な活動となり、ボランティアの皆さんは炎天下のなか精力的に作業を行いました。被災された方々は、連日の作業に疲れきっている様子で、今後も、継続した支援の必要性を感じました。社協では、第2次の災害ボランティア活動支援として、9月1日(水)～3日(土)にかけて



懸命に活動するボランティアの皆さん

岩手県に支援に入る活動を計画しており、現在ボランティア20名を募集しています。支援活動に参加いただける方は、飯山市社協までご連絡をお願いします。

赤い羽根共同募金

風船名入れ協賛企業募集

本年度も、10月1日から12月31日まで赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。

長野県共同募金会飯山市支会では、秋に行われる「ふれあい祭り」において来場者の皆様に風船をお配りします。

企業の皆様、赤い羽根風船に企業名を入れて広報しませんか？

複数の企業名が入りますのでご了承ください。単独で企業名を印刷された場合は「ご相談ください。申込みいただける方は下記連絡先までご連絡下さい。レイアウトを描いていただきしますので申込用紙をお送りいたします。」

【申込締切】10月3日(月)

【申込み先】

長野県共同募金会

飯山市支会

☎0269-2840



【協賛金二口】5000円 ※1つの風船に

第5回いいやま児童館まつり開催

「やってみようつくってみよう」

いいやま児童館まつりは、毎年、「児童館」・「児童センター」・「児童クラブ」の厚生員の企画により、市内の子ども達が一緒に楽しむ、交流をしてもらえる場を作りたいと実施しています。

今年は、7月16日(土)に、第5回児童館まつりが、戸狩児童センターを会場に『やってみよう、つくってみよう』のテーマのもと開催されました。

当日は、お天気にも恵ま



会場は大勢の参加者で賑わいました

れ大勢の方が来場されました。オープニングでは、ダンスグループ「アクア」の「ミツキー」をはじめとするダンスチームのパフォーマンスがあり、賑やかに開会しました。

児童館まつり会場では、当日だけ使用できる児童館通貨「ペン」があり、体験をする通貨を獲得できるようになっていて、子ども達は施設内外に設置された駄菓子屋さんやゲーム屋さん、クイズオリエンテーリング、新聞紙で遊ぶコーナー、なんでもギネ



スポーツチャンバラの様子

ス、制作コーナー(ストラップ、スライム他)を楽しんでまわっていました。また、今年度児童館で新たに作り組んでいる「スポーツチャンバラ」の対戦コーナーもあり、新しいスポーツに挑戦した子ども達は、汗をかき、歓声をあげながら楽しんでいました。

運営には、中学生・高校生のボランティアの協力もあり、一日を通じて楽しく過ごせました。

介護保険事業

Q&A パート③

(お金のコト)

Q うちのおばあちゃん、最近転びやすく筋力が落ちてきた気がして心配です。せめて自分の身のまわりのことは自分でやってみよう

たいんだけどどうしたらいいですか。『要介護1』の認定を受けていますが、外出はあまり好きではなくサービスは利用していません。

A デイサービスやデイケアがありますのでご紹介します。

食事・入浴・排泄等生活行為向上のための支援。通常規模で要介護1の場合 ●基本利用料 677円 (マイケア)

老人保健施設や医療機関等で生活行為向上のためのリハビリを行います。通常規模で要介護1の場合 ●基本利用料 688円

第56回飯山市社会福祉大会

8月28日(日)午後1時30分より、飯山市公民館を会場に、『第56回飯山市社会福祉大会』を開催します。表彰式・記念講演を予定しています。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。



【記念講演】

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 事務局 李 仁 鉄 氏
演題 『地域が支える、地域を支える ～東日本大震災支援の現場から～』
全国各地で災害支援活動をおこなっています。



みんなで笹ずしを作りました



携帯電話でアクセス